

第5期 雄武町総合計画 後期実施計画書 兼 事務事業評価調書

様式1

No. 05010020

政策目標	2	ぬくもり・雄武～保健・医療・福祉の充実～	会計区分	1	一般会計	【全体計画内容】 ※後期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	6	保健・医療の充実	事業優先度	B		
単位施策	1	主体的な健康づくりの促進	政策事務分類	4	法定自治事務	
事業名	食育推進事業		見直し年度			
事業期間	平成25年度～平成29年度		担当課	5	保健福祉課	
事業主体	雄武町		関係課	8	保育所	
事業指標	食育関連事業参加者数の増			12	教育委員会教育振興課	
事業目標	前年度対比の増		ハード/ソフト 事業区分	2	ソフト事業	
住民参加 住民協働	有	健康的な食生活改善への取組	関係例規・法令名	有	食育基本法、母子保健法	
			関係個別計画名	無		

全体計画 事業内容		平成 25 年度 事業内容	平成 26 年度 事業内容	平成 27 年度 事業内容	平成 28 年度 事業内容	平成 29 年度 事業内容	
計 画 内 容	乳幼児期から成人期まで一貫的な食育に関する事業を推進することにより健康増進・生活習慣病などの予防と生活の質の向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・食育に関する個別相談事業 ・乳幼児対象食育健康講座 ・学校児童・生徒対象食育事業 ・健康食を体験する料理教室の開催 ・保育所児童対象食育講話、調理体験事業 ・保育所児童保護者対象食育講話 ・町内栄養・学校保健関係者連絡会議の開催 	<ul style="list-style-type: none"> ・食育に関する個別相談事業 ・乳幼児対象食育健康講座 ・学校児童・生徒対象食育事業 ・健康食を体験する料理教室の開催 ・保育所児童対象食育講話、調理体験事業 ・保育所児童保護者対象食育講話 ・町内栄養・学校保健関係者連絡会議の開催 	<ul style="list-style-type: none"> ・食育に関する個別相談事業 ・乳幼児対象食育健康講座 ・学校児童・生徒対象食育事業 ・健康食を体験する料理教室の開催 ・保育所児童対象者食育講話、調理体験事業 ・保育所児童・保護者対象食育講話 ・町内栄養・学校保健関係者連絡会議の開催 	<ul style="list-style-type: none"> ・食育に関する個別相談事業 ・乳幼児対象食育健康講座 ・学校児童・生徒対象食育事業 ・健康食を体験する料理教室の開催 ・保育所児童対象食育講話、調理体験事業 ・保育所児童保護者対象食育講話 ・町内栄養・学校保健関係者連絡会議の開催 	<ul style="list-style-type: none"> ・食育に関する個別相談事業 ・乳幼児対象食育健康講座 ・学校児童・生徒対象食育事業 ・健康食を体験する料理教室の開催 ・保育所児童対象者食育講話、調理体験事業 ・保育所児童・保護者対象食育講話 ・町内栄養・学校保健関係者連絡会議の開催 	
	事業費(千円)	432	72	120	80	80	
計 画 事 業 費	財源内訳						
	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債	0					
	その他	0					
一般財源	432	72	120	80	80		
実 績 事 業 費	事業費(千円)	179	22	78	38	41	
	財源内訳						
	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債	0					
その他	10				10		
一般財源	169	22	78	38	31		
関 連 事 項	特定財源の名称						
	【評価・実績】	(実施内容等) ・個別相談 284名 ・児童・生徒対象食育事業538名 ・健康食の調理実習 16名 ・食育講話 154名 合計992名 ※事務事業評価結果 A—継続/現状維持	(実施内容等) ・個別相談 349名 ・児童・生徒対象食育事業263名 ・健康食の調理実習 46名 ・食育講話 148名 合計806名 ※事務事業評価結果 B—継続/現状維持	(実施内容等) ・個別相談 299名 ・児童・生徒対象食育事業250名 ・健康食の調理実習 44名 ・食育講話 198名 合計791名 ※事務事業評価結果 B—継続/現状維持	(実施内容等) ・個別相談 361名 ・児童・生徒対象食育事業 61名 ・健康食の調理実習 21名 ・食育講話 236名 合計 679名 ※事務事業評価結果 B—継続/現状維持	(実施内容等) ※事務事業評価結果	
	前期計画からの継続 (継続有り)	年度目標値	食育事業参加者数の増	食育事業参加者数の増	食育事業参加者数の増	食育事業参加者数の増	食育事業参加者数の増
		年度達成率	31%	65%	48%	51%	0%
	第6期計画への継続 (継続有り)	全体達成率	5%	23%	32%	41%	41%
	備考欄						

事業名	食育推進事業	評価者 管理職 職氏名	保健福祉課長	山崎 佳之
		評価者 作成者 職氏名	保健係長	河原 真由美

様式1
平成28年度実施
平成29年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	町民	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	食育関連事業参加数								
【抱える課題やニーズは】	食事を通じた生活様式の多様化が健康課題に大きな影響を与える可能性がある。	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値								
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	生活習慣病等の予防と合わせて、楽しみや潤いがある地域特性に合った食生活を実現することができる。	① 食育関連事業参加者数(前年比)	<table border="1"> <tr><td>目標年度</td><td>平成28年度</td></tr> <tr><td>目標値</td><td>791人</td></tr> <tr><td>実績値</td><td>679人</td></tr> <tr><td>達成度</td><td>85.8%</td></tr> </table>	目標年度	平成28年度	目標値	791人	実績値	679人	達成度	85.8%
目標年度	平成28年度										
目標値	791人										
実績値	679人										
達成度	85.8%										
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	生活習慣病等の予防や食生活の充実により、生活の質(QOL)の向上が実践できる町民が増える。	②	<table border="1"> <tr><td>目標年度</td><td>平成28年度</td></tr> <tr><td>目標値</td><td></td></tr> <tr><td>実績値</td><td></td></tr> <tr><td>達成度</td><td>#DIV/0!%</td></tr> </table>	目標年度	平成28年度	目標値		実績値		達成度	#DIV/0!%
目標年度	平成28年度										
目標値											
実績値											
達成度	#DIV/0!%										
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	食育に関する健康学習の実施	乳幼児相談、保育所児童を対象とした食育講話、成人対象の栄養改善教室、調理実習等集団支援実施									
	個別栄養相談の実施	乳幼児健診、家庭訪問等により町民各自の食生活状況を把握しながら個別相談実施									

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input checked="" type="checkbox"/>	義務的なもの	食育基本法、健康増進法等各種法律で栄養改善、食育推進は市町村として必要な事業である。
必要/概ね必要		<input checked="" type="checkbox"/> 全部	
課題あり		<input type="checkbox"/> 一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	<input type="checkbox"/>	設定した目標値の達成状況	個別相談件数は増加。食生活は個性が高いため、今後もきめ細かな事業展開が必要である。
有効/概ね有効		<input checked="" type="checkbox"/> 達成	
課題あり		<input checked="" type="checkbox"/> ほぼ達成	
		<input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	<input checked="" type="checkbox"/>	判断の理由	食材や食品モデルの活用等コスト削減に努めた。
効率的/概ね効率的		<input checked="" type="checkbox"/> 事業費抑制	
課題あり		<input checked="" type="checkbox"/> 人員削減	
		<input checked="" type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減	
		<input checked="" type="checkbox"/> その他	

(4)事務事業の公平性

公平	<input type="checkbox"/>	判断の理由	調理実習事業は実費負担を徴収したが、その他の事業は受益者負担なし。乳幼児期から学童期、その保護者や成人期、高齢者等幅広く公平に事業を行った。
公平/概ね公平		<input type="checkbox"/> 受益者負担がある	
課題あり		<input type="checkbox"/> 受益者負担がない	
		<input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る	
		<input checked="" type="checkbox"/> その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A~D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
B		
個別対応数の増加が見られ、個別性に配慮した対応ができた。		

今後の展開方向
(Action)

継続/現状維持		
食生活は健康増進、生活習慣病予防や悪化防止のために大切な個人単位の行為であることから、今後も個性に留意しながら事業を実施していく。		

※展開方向の区分
○継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
○終了 ○休止 ○廃止